

## 木更津工業高等専門学校における研究活動に関する目的と基本方針

令和2年2月19日  
運営協議会承認

### 1. 目的

本校における研究活動は、高等専門学校設置基準第2条第2項に基づき、教育水準の維持向上と学術発展への寄与、共同研究等を通じた社会貢献を目的とする。

### 2. 基本方針

以下に掲げるものを基本方針とする。

- (1) 本校の教育水準の維持向上と学術発展に寄与する研究活動の推進
- (2) 地域と連携・密着した研究及び産官学との共同研究等の推進

出典 (木更津工業高等専門学校における研究活動に関する目的と基本方針)



> トップページ > 交通案内 > お問い合わせ > 入札公示



English

[学校概要](#) [学科・専攻科紹介](#) [進路・就職](#) [入試情報](#) [スクールライフ](#) [図書館](#) [産学・地域連携](#)

## 事業内容



[TOP](#) > [産学・地域連携](#) > [地域共同テクノセンター](#) > 事業内容

### 研究

[産学・地域連携](#)

#### ■ 共同研究

企業の方々と、本校研究者と共同で研究を行います。

[地域共同テクノセンター](#) »

> 活動目的

#### ■ 受託研究

企業の方々からの依頼によって、本校が各種研究を行います。

> 事業内容

> ご相談の方法

### 相談

> 施設紹介

#### ■ 技術相談

本校には、多くの教官が多分野に亘り教育と研究に携わっていますので、それぞれの分野で相談に応じたり、情報の提供などを行います。

> 教員紹介

> 活動履歴

> 活動報告

> 組織図

### 寄付

> テクノセンター規程

#### ■ 奨学寄附金

本校では、学術研究の奨励や教育の振興を目的に、広く寄附金を受け入れています。  
※寄附に対しては、税法上の優遇処置が受けられます。

> ラボの研究成果報告

> 申請書・報告書 書式

[技術振興交流会](#) »

### 教育

新型コロナウィルス感染症対策  
木更津高リスク管理室

#### ■ 生涯学習

技術セミナー及び技術研修会等各種リフレッシュ教育を行います。  
専門的知識を生かした各種公開講座を行います。

キッズ・サイエンス  
フェスティバル

↑  
PAGE  
TOP

学生の目

### その他

#### ■ 受託試験

公的機関として、材料試験などを行うことができます。

祇園祭

OPEN  
CAMPUS

教育研究支援センター

## 地域共同テクノセンター

[TOP](#) > [産学・地域連携](#) > [地域共同テクノセンター](#)

### 地域共同テクノセンター

地域共同テクノセンターは、共同研究・受託研究・受託試験・技術相談・生涯学習などを集約的に行い地域の方々と共に、地域の発展向上に努めるための拠点です

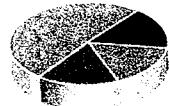
#### 地域共同テクノセンターのお知らせ

[» 一覧を見る](#)

2019/12/09	<a href="#">みなまちブック・フェス2019を開催いたします</a>
2019/10/04	<a href="#">テクノトランスマートinかわさき2019に出展します</a>
2018/09/29	<a href="#">9月30日開催予定の公開講座「子どもパソコン講座」について【台風のため中止】</a>
2018/05/16	<a href="#">テクノトランスマートinかわさき2018に出展します</a>
2018/01/24	<a href="#">第28回テクノフォーラム・木更津高専COC+シンポジウムを開催します</a>
2017/10/30	<a href="#">第27回テクノフォーラムを開催します【平成29年11月14日(火)】</a>



活動目的



事業内容



ご相談の方法



施設紹介



研究シーズ集



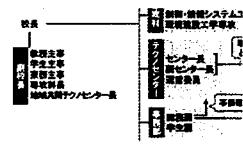
教員紹介



活動履歴



活動報告



組織図



テクノセンター規程



ラボの研究成果報告



申請書・報告書 書式



新着情報一覧



教員の研究を探す

#### 産学・地域連携

##### 地域共同テクノセンター »

› 活動目的

› 事業内容

› ご相談の方法

› 施設紹介

› 研究シーズ集

› 教員紹介

› 活動履歴

› 活動報告

› 組織図

› テクノセンター規程

› ラボの研究成果報告

› 申請書・報告書 書式

##### 技術振興交流会 »

##### 新型コロナウイルス感染症対策

木更津高専リスク名程室

##### キッズ・サイエンス フェスティバル

##### 学生の目

##### 祇園祭

##### OPEN CAMPUS

##### 教育研究支援センター

^  
PAGE  
TOP

## 令和元年度地域共同テクノセンター事業実施報告

## 出前授業

No.	実施日	担当教員		テーマ・内容	依頼元	実施場所	参加人数	
		学科・学系	氏名				大人	子供
1	H31.04.26(金)	人文学系		陸上競技教室基礎編～速く走るコツ～、実践編～種目別指導～	木更津市立清見台小学校	同左	20名	100名
2	R1.05.07(火)	人文学系		陸上競技教室基礎編～速く走るコツ～	木更津市立祇園小学校	同左	20名	100名
3	R1.05.08(水)	人文学系		陸上競技教室実践編～種目別指導（走種目、リレー、ハードル、走幅跳など）～	木更津市立木更津第一中学校	同左		60名
4	R1.05.10(金)	人文学系		陸上競技教室実践編～種目別指導（ハードル走）～	木更津市木更津第一小学校	同左	20名	120名
5	R1.05.12(日)	人文学系		陸上競技教室基礎編～速く走るコツ～	木更津市教育委員会	本校陸上競技場		160名
6	R1.05.15(水)	人文学系		陸上競技教室実践編～種目別指導（走種目、リレー、ハードル、走幅跳など）～	木更津市立祇園小学校	本校陸上競技場		35名
7	R1.05.29(水)	人文学系		陸上競技教室実践編～種目別指導（走種目、リレー）～	木更津市立木更津第一中学校	同左		40名
8	R1.07.21(日)	基礎学系		低温の世界を体験しよう	中郷公民館	中郷小学校家庭科室	10名	17名
9	R1.07.27(土)	基礎学系		すなみ親子体験教室（低温の世界を体験しよう！）	周南公民館	同左	8名	16名
10	R1.08.04(日)	環境都市工学科		コンクリートでモアイ人形を作ろう	はまぎんこども宇宙科学館	同左		60名
11	R1.08.17(土)	電気電子工学科		金属探知機を使って宝探し	市原市役所	市原youホール (市原市労働会館)		20名
12	R1.08.17(土)	電子制御工学科		フルカラーLEDを使って光と遊ぼう	同上	同上		20名
13	R1.08.21(水)	基礎学系		光について 偏光シートでステンドグラスを作ろう！	西清川公民館	同左	2名	13名
14	R1.08.23(金)	基礎学系		不思議な万華鏡を作ろう！	小櫃公民館	同左		8名
15	R1.09.08(日)	電子制御工学科		電子オルゴールをつくろう！	袖ヶ浦市民会館	同左		16名
16	R1.10.19(土)	電子制御工学科		えんぴつオルガンを使った音実験	平川公民館	同左		19名
17	R1.10.19(土)	電気電子工学科		太陽電池の仕組みを知る（木更津高校SSHとの連携）	千葉県立木更津高等学校	木更津工業高等専門学校		7名
18	R1.12.06(金)	基礎学系		万華鏡製作と光の演示実験	木更津市立木更津第一中学校	同左		100名
19	R1.12.21(土)	人文学系		陸上競技教室～速く走るコツ～	木更津市教育委員会	本校陸上競技場		23名
20	R2.01.24(金)	基礎学系		ステンドガラス万華鏡の製作	木更津市まなび支援センター	同左		7名

## 公開講座

No.	実施日	担当者		テーマ・内容	対象	参加人数	備考 (補助学生人数)	
		学科・学系	氏名				大人	子供
1	R1.06.16(日)	人文学系		柔道ってどんなもの？	小学生	10名	2名	
2	R1.07.30(火)	教育研究支援センター		夏休み子ども工作教室	小学4年生-6年生	15名	0名	
3	R1.07.31(水)	教育研究支援センター		LEDランタンを作ろう	小学4年生-中学生	10名	0名	
4	R1.08.22(木)	電子制御工学科		シャフト・ドライブカーをつくろう	小学生	9名	3名	
5	R1.08.23(金)	電子制御工学科		光の残像でメッセージを伝えよう	小学3年生-中学生	10名	4名	
6	R1.09.29(日)	人文学系		柔道ってどんなもの？	小学生	10名	2名	
7	R1.10.06(日)	情報工学科		子供プログラミング講座	小中学生	24名	9名	
8	R1.10.26(土)	電子制御工学科		電子オルゴールを作ろう！	小学3年生-中学生	10名	5名	
9	R1.12.07(土)	電子制御工学科		レゴロボットを作ろう！	小学生	19名	8名	
10	R1.12.08(日)	電子制御工学科		くるくるクリスマスツリーを作ろう！	小中学生	12名	5名	

# 令和元年度地域共同テクノセンター事業実施報告

令和2年3月31日

## イベント出展等

No.	実施日	担当者		イベント名（主催）	会場	来場者数	備考
		学科・学系	氏名				
1	R1.7.4（木）	情報工学科 電子制御工学科 電気電子工学科 情報工学科		産学合同技術シーズ交流会 -AI・IoT等先端技術による産学共同研究に向けて- (公益財団法人千葉市産業振興財団)	三井ガーデンホテル千葉	124人	
2	R1.8.22（木）	基礎学系  教育研究支援センター 機械工学科 電気電子工学科 電子制御工学科 情報工学科  環境都市工学科  教育研究支援センター		君津地方教育研究会理科部会	木更津工業高等専門学校	70人	
3	R1.11.13（水）～ R1.11.15（金）	電気電子工学科		テクノトランスファー in かわさき (公益財団法人神奈川産業振興センター、神奈川県、川崎市)	カルッツかわさき	6,300人	
4	R1.11.17（日）	情報工学科 電子制御工学科 環境都市工学科		生涯学習フェスティバル2019	木更津市民体育館	168人	
5	R1.12.15（日）	基礎学系  電気電子工学科 情報工学科  教育研究支援センター		Let's be a STEM Girl !!	木更津工業高等専門学校	77人	

## キッズ・サイエンス・フェスティバル（技術振興交流会と共催）

No.	実施日	担当者		展示会名	会場	左:1回の定員 右:開催回数	備考 (補助学生人数)
		学科・学系	氏名				
1	R1.08.10(土)	基礎学系		おもしろサイエンス ネオジウム磁石発電機を作ろう！	203教室（マルチA）	16人／2回	6名
2		基礎学系		作って確かめる多面体の不思議	303教室	10人／2回	0名
3		機械工学科		不思議な模様が現れるモアレディスクを作ろう	302教室	8人／3回	0名
4		電気電子工学科		金属探知機を作って宝探し！！	305教室	16人／3回	5名
5		電子制御工学科		電子オルゴールをつくろう！	207教室	16人／5回	8名
6		電子制御工学科		鉛筆オルガンをつくろう	301教室	12人／3回	3名
7		会員企業		こどもコマ対戦コマをつくってみよう	406教室	フリー	5名
8		会員企業		こどもコマ大戦木更津高専KSF場所	408教室	16人／3回	5名
9		情報工学科		君にもつくれる防犯センター	204教室（マルチB）	16人／3回	10名
10		会員企業		とことん壊して分別してみよう	306教室	フリー	0名
11		会員企業		片手でプログラミング	407教室	2人／6回	0名
12		会員企業		片手でプログラミング（簡易版）	405教室	フリー	0名
13		環境都市工学科		ポーラスコンクリートで植木鉢を作ろう	307教室	10人／3回	5名
14		教育研究支援センター		袋口ケットを飛ばそう	308教室	10人／2回	4名
15		電子制御工学科		Let'sへら絞り！アルミ板のロクロ加工	304教室	フリー	4名
16		ロボット同好会		高専ロボコンのロボット展示、操作体験	208教室	フリー	6名

# 令和元年度地域共同テクノセンター事業実施報告

令和2年3月31日

## レベルアップ講座

No.	実施日	担当者		講座名	対象	参加人数	備考
		学科・学系	氏名				
1	R1.08.22(木)	電子制御工学科		卓上レーザー加工機でキーホルダー・はんこ作り	パソコンの基本操作ができる方 (大人及び小学4年生以上)	5名	
2	R1.11.24(日)	情報工学科		わくわくプログラミング教室	小学生以上	6名	
3	R2.02.15(土)	人文学系		「スポーツ科学を用いた身体負荷の少ない歩き方・走り方と身体操作法」	年齢・性別問わず、健康な方ならどなたでも	6名	

## 技術相談

No.	実施日	担当者		相談者（業種等）	備考
		学科・学系	氏名		
1	H31.04.05(月)	電気電子工学科		金属加工業	
2	R1.05.15(水)	電気電子工学科		電子機器の製造および販売	
3	R1.06.28(金)	電子制御工学科		機械製造業	
4	R1.08.06(火)	電子制御工学科		金属加工業	
5	R1.08.23(金)	電気電子工学科		硝子・土石製品の製造および販売	
6	R1.08.28(水)	電子制御工学科		機械製造業	
7	R1.08.28(水)	電子制御工学科		機械製造業	
8	R1.09.10(火)	電子制御工学科		機械製造業	
9	R1.12.19(木)	電気電子工学科		硝子・土石製品の製造および販売	

## 令和元年度 木更津高専キッズサイエンスフェスティバル 実施報告

### 1. 概要

- 目的** ものづくりを通じた科学技術への学びの機会を近隣地域の小学生に提供することで、木更津高専技術振興交流会および木更津高専として地域貢献をすること。
- 内容** 木更津高専教職員・学生および技術振興交流会会員企業の方が講師となって、複数のものづくり講座を開講し、将来の地域や日本を担う小学生たちに体験してもらい、科学技術・ものづくりに興味を持つてもらうためのイベント。
- 日時** 2019年8月10日（土） 10：00～16：30
- 会場** 木更津高専総合教育棟
- 主催** 木更津工業高等専門学校
- 共催** 木更津高専技術振興交流会
- 後援** 木更津市教育委員会、君津市教育委員会、富津市教育委員会、袖ヶ浦市教育委員会、木更津商工会議所、君津商工会議所、富津市商工会、袖ヶ浦市商工会

### 2. 申込み状況及び参加状況

本イベントは2010年度より「サイエンスフェスティバル」、2013年度より「キッズサイエンスフェスティバル」として、開催されているもので、近隣小学生らの夏休みイベントとして定着しつつある。今年度の実施の様子を図1に示す。



図1 キッズサイエンスフェスティバル 2019 の様子

出典（令和元年度地域共同テクノセンター運営委員会資料 キッズサイエンスフェスティバル実施報告書）

2016年度の開催より、1参加者あたり200円の参加費（保険費）をいただいているが、例年に引き続き応募倍率が非常に高い状態が続いている。今年度も、昨年度同様2会場を予定していたが、相手方の事情により、高専会場のみとなった。そのため、申し込みが必要な参加者数の総計419名（去年度66名減少）に縮小したにもかかわらず、1,174件の応募（平均倍率2.8倍）があり、企画と時間帯によっては10倍を超える抽選倍率であった。当日の参加者数は330名であり、全体84%の方に回答をいただいた各企画のアンケートにおける満足度調査（満足・普通・不満の3段階）の結果、平均満足度は96%で不満回答者数0名であった。

### 3. 各講座の状況

本年度開催された講座名とその主担当者、対象とした小学生の学年と人数、講座を開講した回数は表1の通りである（担当者は、ページの都合上、主担当者のみを示す）。

表1 KSF2019の講座一覧（番号1～9は事前応募・抽選企画、A～Fは当日参加可能）

#### ■木更津高専会場

番号	本校主担当者氏名	講座名（補助学生数）	対象学年など
1	■■■（基礎）	おもしろサイエンス ネオジウム磁石発電機を作ろう！(6)	小4～小6、保護者同伴の小1～小3 16名x2回
2	■■■（基礎）	作って確かめる多面体の不思議(0)	小4～小6、10名x2回
3	■■■（機械）	不思議な模様が現れるモアレディスクを作ろう(0)	小4～小6、15名x3回
4	■■■（電気）	金属探知機を使って宝探し!!(5)	小1～6、16名x3回
5	■■■（制御）	電子オルゴールをつくろう！(8)	小1～6、16名x5回
6	■■■（制御）	鉛筆オルガンをつくろう(3)	小4～6、12名x3回
7 / A	■■■（会員企業） ■■■（基礎）	こどもコマ対戦木更津高専 KSF 場所(5) こどもコマ対戦コマをつくってみよう(5)	小1～6、16名x3回 小1～6、自由参加
8	■■■（情報）	君にもつくれる防犯センサー(11)	小4～6、16名x3回
9	■■■（環境）	ポーラスコンクリートで植木鉢を作ろう(5)	小4～6、10名x3回
10	■■■（技術）	袋口ケットを飛ばそう(4)	10名x2回
11	■■■（会員企業） ■■■（情報）	片手でプログラミング(0)	小4～6、2名x6回
B	■■■（会員企業）	片手でプログラミング（簡易版）(0)	自由参加

#### 4 全体の運営状況

今年度の運営状況の特徴を2点挙げる。まず1点は、例年より多くの会員の皆様に企画・展示にご協力いただいたことで、より多くの参加者の方にご満足いただけたことである。参加者の中には、企画終了後にも見て回られる方や抽選に外れてしまってもいらっしゃる方が少なからずいらっしゃるため、当日参加可能の企画や展示も、本イベントに重要なものである。次の1点は、高専会場における降車場の設置と警備員の配置による安全対策である。一昨年度の状況を鑑み、校内での駐車を取りやめ、積極的な公共交通機関の利用を告知するとともに、降車場を設置と警備員の配置を行い、来場者の安全対策の対応を行った。来場者の安全については、怪我の場合はもちろん、地震・火災等の非常時の対処についてもマニュアルに記載するなども対処をしたが、一定の余裕がないと安全が損なわれやすくなる。一方で、昨年度のように受入れ人数を増やしても、「もっと来場者を増やせないか」など研究協力・地域連携係のお電話等のご意見を複数いただく状況があり、恐縮ではあるが、引き続き安全確保に努めてまいりたい。

#### 4. 次年度に向けて

関係の皆様より来年度に向けた運営上の改善事項をお伺いし、次年度に向けた対処の準備を進めている。運営各企画担当の教員からも実施報告書を集約し、運営の改善と各企画の改善をそれぞれ図ることで、よりよいイベントとなるように心がけていきたい。

## 5. 謝辭

本イベントの実施は、木更津高専技術振興交流会のご支援の下に運営されるものです。今年度も安全かつ盛大に実施できたことは、会員の商工会議所・商工会・企業のご関係の皆様、各企画の担当の教職員、補助学生など、多くの方々のご尽力によります。運営主担当者として、この場を借りて御礼申し上げます。